

旭川地区及び永山新川における オオハクチョウ・コハクチョウの飛来状況推移

柳田和美

070-8061 旭川市高砂台2丁目2番2-703号

調査地

ここでいう旭川地区とは、旭川市と隣接行政市町村のうち深川市・幌加内町・和寒町を除く鷹栖町・比布町・東川町・美瑛町・当麻町・東神楽町・愛別町を指します(図1)。また、永山新川は、旭川市中心部から北西約9kmにあり、昭和62年(1987)から工事に着手し(事業着手は昭和59年)、平成16年(2004)竣工した全長5.7kmの人工河川です。工事期間中からハクチョウが飛来するようになった場所です(図2:永山新川)。

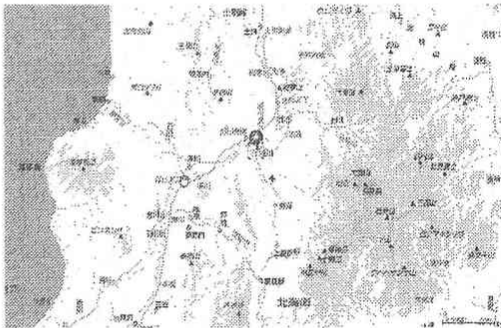


図1. 旭川地区位置図.

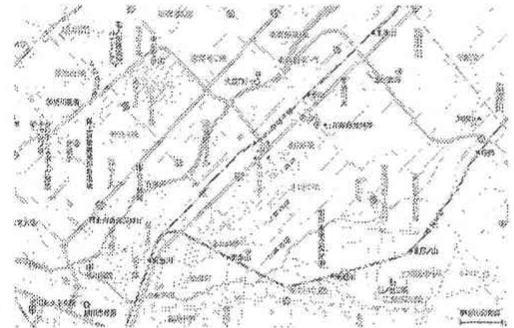


図2. 永山新川位置図.

<http://map.yahoo.co.jp/pl?lat=43.74776310&lon=142.44873110&ac=01204&az=&v=2&sc=7>

文献記録：日本野鳥の会旭川・旭川野鳥の会会誌(1972-1990)

旭川野鳥の会が昭和47年(1972)4月にできてから昭和56年(1981)までの10年間の記録は、会誌北の野鳥によると、以下のとおりです。

コハクチョウは、昭和49, 54-56年に記録されており、当時市内嵐山の鈴木善三郎氏によると「毎年10月下旬～11月上旬に嵐山上空を渡ってゆく」ことを話してくれたとあります。この傾向は現在も続いており、筆者自宅上空(旭川市高砂台)を通過する群れをほぼ毎年(通過時刻はまちまち)確認しています。ただし、オオハクとコハクの

Kazuyoshi YANAGIDA, Winter population trends of Whopper and Bewick's Swans in Asahikawa and its surrounding areas.

表 1. 永山新川『白鳥渡来数』年度別対比表(春期・5日平均)

月 日	合計										
	平成 10	平成 11	平成 12	平成 13	平成 14	平成 15	平成 16	平成 17	平成 18	平成 19	平成 20
1月1日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	37	12
1月6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	41	19
1月11日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	50	24
1月16日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	49	8
1月21日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	42	2
1月26日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	53	1
1月31日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	48	0
2月5日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	47	0
2月10日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	47	0
2月15日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	48	0
2月20日	0	0	0	0	0	0	0	0	4	53	1
2月25日	0	0	0	0	0	0	0	0	15	64	3
3月1日	0	0	0	0	0	0	2	0	23	112	10
3月6日	0	0	0	0	0	0	1	6	33	241	19
3月11日	0	0	0	0	0	6	23	29	62	265	45
3月16日	0	3	0	0	72	20	119	75	75	221	148
3月21日	0	5	13	16	184	87	181	122	142	243	875
3月26日	0	40	34	47	281	94	230	145	314	449	<u>1,156</u>
3月31日	0	81	42	52	332	197	471	178	307	1,216	5,416
4月5日	45	114	59	132	671	532	653	283	623	<u>3,182</u>	3,264
4月10日	153	66	21	83	<u>763</u>	973	<u>1,268</u>	659	919	3,155	2,805
4月15日	<u>179</u>	96	106	<u>273</u>	262	<u>1,011</u>	795	1,899	1,829	3,043	860
4月20日	34	<u>203</u>	173	147	44	466	242	<u>2,433</u>	<u>2,319</u>	440	168
4月25日	6	171	<u>197</u>	35	2	80	88	1,301	640	44	124
4月30日	2	15	47	6	0	23	6	199	66	4	14
5月5日	0	0	0	0	0	0	0	14	7	1	3
5月10日	0	0	0	0	0	0	0	13	4	1	2
5月15日	0	0	0	0	0	0	0	18	2	1	1
5月20日	0	0	0	0	0	0	0	23	2	1	1
5月25日	0	0	0	0	0	0	0	28	2	1	2
5月20日	0	0	0	0	0	0	0	23	2	1	1
5月25日	0	0	0	0	0	0	0	28	2	1	2
5月30日	0	0	0	0	0	0	0	32	2	1	1

下線は5日平均の最大飛来数(筆者注)

識別はしていません。

オオハクチョウは昭和50, 52~53, 56年に記録されています(山田 1981)。コハクチョウについては、北の野鳥(19) : 12(1984)に「比布町にコハクチョウ」とあります。同じようなことは、1977-1990年に旭川市が実施した自然保護調査をまとめた、旭川市の鳥類にも、「オオハクチョウは春3月~5月, 秋10月~11月, 渡りの途中, 年により少数の群れが, 石狩川や貯水池, 水田などに短期間とどまることがある。コハクチョウは春3月~5月, 秋10月~11月, 渡りの途中石狩川などに数十羽の群が飛来することがある。上空を通過する数は多い。」と述べられています(石川 1991)。

文献記録 : 日本野鳥の会旭川・旭川野鳥の会会誌 (1991-2003)

表2. 永山新川『白鳥渡来数』年度別対比表(秋期・旬平均)

月 日	合計										
	平成10	平成11	平成12	平成13	平成14	平成15	平成16	平成17	平成18	平成19	平成20
10/1~10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
10/11~20	0	0	0	0	0	0	0	0	6	14	8
10/21~31	2	1	0	3	7	52	6	12	21	26	19
11/1~10	0	0	0	0	2	64	4	28	49	57	79
11/11~20	0	0	0	0	19	45	22	43	68	54	118
11/21~30	0	0	0	0	11	33	23	42	63	39	53
12/1~10	0	0	0	0	3	21	19	33	44	35	48
12/11~20	0	0	0	0	0	0	17	32	48	41	
12/21~31	0	0	0	0	0	0	7	12	46	31	0

下線は10日間平均の最大飛来数(筆者注). 平成19, 20年は筆者計算, 小数点以下四捨五

種不明(コハクチョウ?). 北の野鳥(26): 5(1991)に「47羽が北から南へ集団飛行」とあります. オオハクチョウ・コハクチョウ(亜種アメリカコハクチョウとコハクチョウ)については, 北の野鳥(27): 22(1992)に「亜種アメリカコハクチョウ初確認」とあります.

永山新川調査記録: 旭川河川事務所 (参考1998-2008)

これは, 永山新川を管理する河川事務所のデータですが, コハクチョウとオオハクチョウの識別はしておらず, 白鳥と区分された総数の記録であることをお断りしておきます(表1, 2).

上記のデータから, 平成13年(永山新川の工事期間中)から20年にかけて, 春期には秋期の約16~90倍の飛来数があること, また年々増加の傾向を示していることもわかります. この頃から旭川ではハクチョウ類の飛来が珍しいことではなくなりました.

日本野鳥の会「旭川・永山新川鳥類詳細調査2009 & 2010」よりハクチョウ類部分抜粋

この調査は前日本野鳥の会旭川支部長・高野正さんの企画から始まったもので, 調査日を4月10日前後に設定しています.

2009年4月12日: 永山新川調査記録. 5:45-7:20. 日本野鳥の会旭川支部・人と野生生物の関わりを考える会・NPO法人水と緑の永山を育てる会(表3):

この調査から, オオハクチョウは永山新川の中流部(⑥-⑦)で多く見られる傾向があります. この理由として餌やりの問題があると推定しています. 餌やり自粛要請がなされているものの, 知らずに「善意」から餌やりをする方や, 意識的に餌やりをする方の存在があります. 中流部(⑥-⑦)では駐車場と親水エリアとして整備された護岸もあることが, 餌やりをしやすくしており, 餌目的にオオハクチョウが集結しているともいえるかもしれません.

コハクチョウは永山新川の上流および下流部分に多く, 明け方に採餌のため近郊(旭川・鷹栖・比布・東川・当麻・愛別)の水田等に移動し, 夕暮れ時に集結する個体

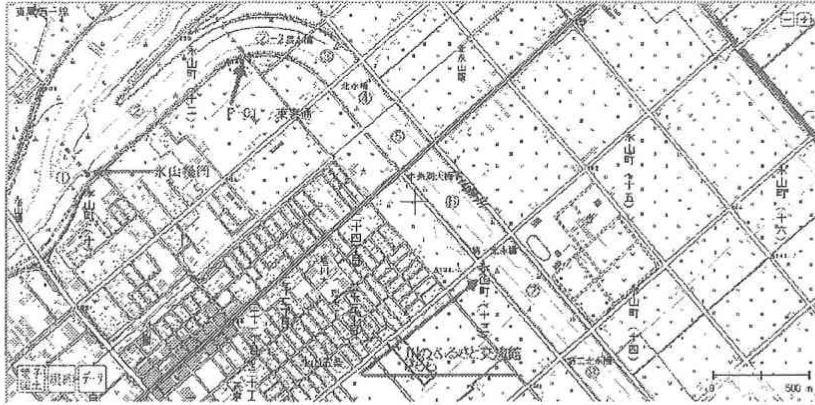


図3. 調査地位置図1. ①永山樋門付近, ②永山樋門～辰永橋, ③辰永橋～北永橋, ④北永橋～鉄道橋, ⑤鉄道橋～牛朱別大橋

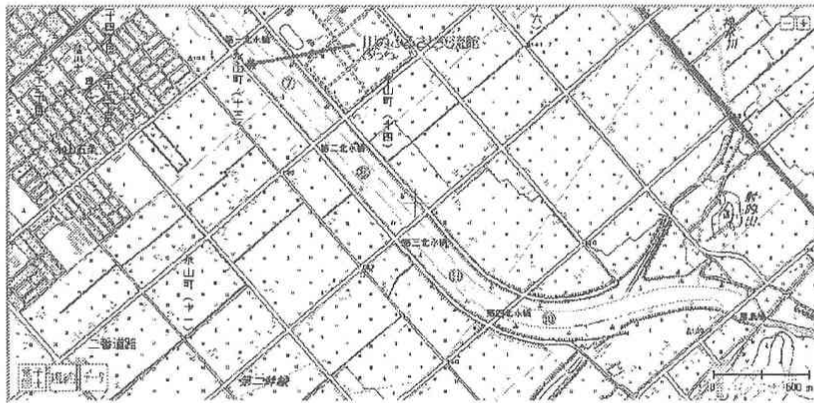


図4. 調査地位置図2. ⑥牛朱別大橋～第1北永橋, ⑦第1北永橋～第2北永橋, ⑧第2北永橋～第3北永橋, ⑨第3北永橋～第4北永橋, ⑩第4北永橋～分流樋門.

が多いのも特徴です.

表3. 永山新川における調査結果(2009年4月12日)

種名	調査地										計
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	
オオハクチョウ			59	81		312	441	230	10		1,133
コハクチョウ		1,269				11	15	435	61	295	2,086
アメリカコハクチョウ										1	1
個体数計	0	1,269	59	81	0	323	456	665	71	296	3,220
種数	2	18	10	15	14	24	19	14	9	6	32
鳥類個体数計		3,870	2,010	3,911	7,198	44,532	42,831	1,405	178	601	106,536

2010年4月11日：永山新川調査記録. 5：45～6：45. 日本野鳥の会旭川支部・NPO法人水と緑の永山を育てる会(表4)：調査地①永山樋門下流, ②-1永山樋門～P-01, ②-2 P-01～辰永橋, ③辰永橋～北永橋, ④北永橋～鉄道橋, ⑤鉄道橋～牛朱別大橋, ⑥牛朱別大橋～第1北永橋, ⑦第1北永橋～第2北永橋, ⑧第2北永橋～第3北永橋, ⑨第3北永橋～第4北永橋, ⑩第4北永橋～分流樋門.

2010年の調査では⑦で、2009年11月2日にクッチャロ湖で発信機付首輪を装着されたコハクチョウ(180Y)も偶然観察されましたが、その後クッチャロ湖へ移動したかどうかは不明です。この個体はその後、日本野鳥の会旭川の会員Tがインターネットで調べたところ、2009年冬には新潟県村上市で確認されたことが判りました(角田分, <http://wakatsuk.blog68.fc2.com/blog-date-200911-2.html>)。発信機が無事稼働しているかは不明ですが、北上飛去ルート(角田分, <http://kakuta.cart.fc2.com/>)では一部がクッチャロ湖と旭川を結ぶ可能性のあることを示唆しています。

表4. 永山新川における調査結果(2010年4月11日)

種名	調査地										計	
	①	②-1	②-2	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨		⑩
オオハクチョウ					27		21	70		384	198	700
コハクチョウ		397	28					260		121	59	865
アメリカコハクチョウ		2										2
ハクチョウ類			14						1,780			1,794
個体数計		399	42		27		21	330	1,780	505	257	3,361
種数	0	13	11	7	9	6	9	9	8	10	14	
水鳥個体数計		918	847	1,032	1,137	1,938	30,000	12,471	5,323	847	655	55,168
陸鳥個体数計		12	2	1	2		4	2		3	50	76
鳥類個体数計		930	849	1,033	1,139	1,938	30,004	12,473	5,323	850	705	55,244

この報告を書くにあたり、データを提供して下さった旭川河川事務所にお礼申し上げます。

文献

- 旭川開発建設部旭川河川事務所. 2005. 牛朱別川分水路. (財)北海道開発協会, 札幌.
 石川信夫. 1991. 旭川市の鳥類. 旭川の動・植物, 旭川市自然保護調査報告書総集編.
 旭川市, 旭川.
 山田良造. 1981. 旭川周辺のハクチョウ. 北の野鳥 (16): 9-10.
 旭川野鳥の会・日本野鳥の会旭川. 1972-2009. 北の野鳥.
 日本野鳥の会旭川・旭川野鳥の会. 2009. 野鳥識別勉強会2